

まほろば



2014.1
第149号

新年のごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。平成25年という1年もあっという間に過ぎ去り新しい平成26年を迎えます。

毎年この時期になると、ふだんは無風流な私にも2篇の和歌と俳句が何気なしに口について出て参ります。いずれも有名で人口に膾炙しているもので今更取り上げるほどではないのですが、ここに掲げてみたいと思います。

一つは、大伴家持の歌で
「新しき年の始の初春の今日降る雪のいや重け吉事」

年末、年始とはいっても日常の一時期に過ぎませんが、このときを境にこの先1年なにかよき事、喜ばしいことが待っているような気持ちにさせられます。またそうでありたいと願う気持ちになります。

平成26年には、医療界では4月の診療報酬改定があり、また時を同じくして消費税の3%引き上げという生活全般に影響の大きい変革が待っております。

当病院に関しては、7月実施を目指して全面的電

子カルテ化が図られよりよいものにすべく総力を挙げて調整中です。これらの動きには一時的に多少の混乱や低迷など負の現象がみられるのも避けがたいとは思いますが、総じて多くの人々にとってよい方向へ向かうことを念じたいと思います。

もう一つこの時期に思い起こされる俳句として、高浜虚子の
「去年今年貫く棒の如きもの」

この句を口ずさむたびに、周囲の状況がどんなに変化しようとも信念を貫く覚悟を持っていきたいという気持ちがわいてきます。

皆様にとって、今年もまたよい1年でありますように。

副院長：柿崎 寛



大伴家持 像



新しい年に -2014年午年-



平成26年（2014年）、今年の干支は「うま午」。

午年といえば、「丙午」がうかびますが、「丙午生まれの女性は気性が激しい」といわれる発端は、江戸時代は八百屋お七の物語。火事で避難した寺で出逢った男性と恋に落ちた八百屋の娘お七は、また会いたければまた火事になればよいのだと、自らの家に付け火をしてしまいます。巷説では、この時お七は16歳、1666年生まれの丙午。

それで、「気性が激しい」となったのでしょう。

今年は「甲午」。この年生まれの人は、一見クールで派手なタイプに見えるのに、内面は情にもろく、見た目と内面のギャップが大きいようです。根は明るく、嘘を付かれるのが嫌いで、柔軟性に欠けている所もありますが、統率力があって人望を集めること。午年生まれの有名人は、松任谷由実さん、ジャッキー・チェンさん、浅田真央さんなど、たくさんの方がいます。

今年「午年」の一代様（自分の生まれ年の干支を守り神とする、藩政時代から続く津軽地方の信仰）は、黒石市の「袋の観音様」白山姫神社です。奉られている勢至菩薩は、八大菩薩のひとつで、衆生の無知を救う仏の智慧を表し、「偉大な威力を得た者」を意味します。

今年一年、皆様にとってますます良い年になりますように。

地域医療連携係：工藤 真淑

診療報酬の適切な請求のために

12月20日に診療報酬講習会が開催され、当院職員が多く参加しました。「診療報酬」とは、病院が提供する医療に対して法律で決められている価格のことです。患者さんが受診した時や入院した場合には、この公定価格に従って医療費の合計金額が決まります。そして合計金額の一部を患者さんに支払っていただき、残りを健康保険に請求しているのです。

診療報酬は仕組みが複雑なだけでなく定期的に変更が行われるのですが、病院で働く者は常に最新の情報を入手し、間違いないよう計算しなければなりません。今回の講習ではその計算方法の基本的な部分を再確認することができました。今後も当院では、患者さんに適切な請求を徹底していく所存です。

入院係長：宮下 朋樹





感染対策地域連携相互評価を終えて

平成25年12月6日（金）、当院において西北中央病院の感染対策チームによる『感染対策地域連携相互評価』が行われました。これは、地域の医療機関同士が感染対策の相互評価を行うことにより地域連携と感染対策の推進を図ることが目的です。

評価は、感染対策にかかる書類の確認と院内ラウンドによって行われます。書類の確認では、院内感染対策マニュアルの内容や職員に対する研修会の実施とその出席率などについて、ラウンドでは院内感染のリスクが高い水回り周囲や汚物室などの環境面、および職員の手指衛生の状況などを評価しました。結果は、概ね良い評価を頂きなが

らも、器材を洗浄するスポンジは乾燥できる管理方法にすること、アルコール手指消毒剤の設置は患者様が使用する手すりにかられない場所にすること、全職員に対してより手指衛生を推進することなどいくつかの指摘事項もありました。

いつも見ている自分たちだけでは気がつかない点も、外部の目が入ることで気づくことがあり、私たち感染対策チームの活動もまだまだだと実感しました。早速、指摘事項の改善について取り組み、患者様が安心して医療を受けられるよう、さらに感染対策の推進を図って行きたいと思います。

感染対策チーム（ＩＣＮ）：大谷 直美

「風の子保育園 おゆうぎ会」

12月14日（土）院内風の子保育園のホールでおゆうぎ会を行いました。

18名の園児がうた・合奏・げき・ゆうぎと日々の頑張りを発表しました。

初舞台でも最後まで泣かずにＮＨＫ番組の「みいつけた」の「エビバデオフロスキー」のダンスを「ウロヤタマ」とポーズをとって年長児のバッカダンサーと一緒に踊った1歳男の子たんぽぽ組。

りんごのピアス、真っ赤なフリフリスカートをはいて津軽弁の歌詞で「なんばめじゅ！アポーパイ」と、りんごの町弘前から生まれた津軽のご当地アイドルのりんご娘になりきって踊った女の子。「とんちんかんちん一休さん」のかわいい小坊主姿の男の子。牛乳パックの手作りタンバリンによる合奏。日本昔話「おむすびころりん」の劇を楽しみながら見せてくれた2～4歳ばら・ちゅうりっぷ組。

今年話題になった「あまちゃん」から本物そっくりのかすり着姿、駅長姿でテンポの速いダンスもはりきって歌って踊った「暦の上ではディセンバー」。

クリスマスバージョンのうた・合奏、みんなの話し合いで配役を決めなりきって演じた「王様の耳はロバの耳」。

ヒップホップの難しいステップも軽やかに元気あふれる「夢のステージ」を踊ってチームワークバッチャリの9人5～6歳ゆり。ひまわり組。

年長最後の舞台にふさわしく、扇子を持って袴姿も凛々しく格好よく舞った「一剣」では、会場からたくさんのお手をもらいました。おゆうぎ会を通して「みんなの前でも大きな声でセリフが言えた！」「元気にダンスができた！」という感動が自信につながり、また1つ大きく成長する事ができたと思います。

プログラム終了後は、一足早いサンタクロースの登場に大喜び。「おゆうぎ頑張りましたね」と、プレゼントをもらいニッコリの子どもたちでした。

昭和50年5月に開設した風の子保育園も来年40才を迎えます。いろいろな体験を通して、これからも子ども達の素直な気持ちと元気いっぱいのエネルギーと共に、保育園を築いていきたいと思いますので宜しくお願い致します。

あたたかい拍手ありがとうございました。

風の子保育園 園長：諏訪 栄子



フォト in クリスマス会

母子医療センター・4階病棟にサンタさんが来ました～（H25.12.25）



（母子医療センター）



（4階病棟）

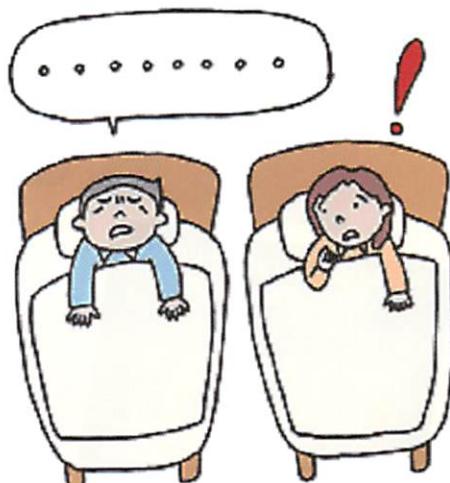
あなたの睡眠は良い睡眠ですか？

現在、睡眠にトラブルを抱える人は少なくありません。なんとなく眠った感じがしない、いくら眠っても眠い、いびきがうるさいなど単なる寝不足と思われがちですが、実は深刻な病気が隠れています。それは「睡眠時無呼吸症候群」といい、睡眠中に10秒以上呼吸が止まる病気で、呼吸を再開するたびに、自分では気付かない短い覚醒を繰り返すため、熟睡感が得られないのです。

このような症状のある方は、「簡易型P S G検査」を受けていただくことをお勧めします。睡眠中の呼吸の状態を診る検査で、器具を持ち帰り自宅で検査できます。器具を装着し一晩就寝、翌日返却していただきます。器具のつけ方は技師がしっかりと説明しますので安心してください。もちろん痛みを伴いません。

質の良い睡眠はとても大事なことです。日中の

眠気やいびきなど気になる方、睡眠検査に興味のある方は、気軽に検査を受けてみてはいかがでしょうか。まずは主治医に相談してみましょう。



臨床検査技師：川村 明子

“健生病院における10か条の実践”を聞いて

～BFH認定を継続していくための様々な工夫～

12月19日、津軽保健生活協同組合 健生病院母乳推進委員会の助産師である 岸 千恵子さんを講師に招き、BFHとしての認定を維持していくための工夫について講演していただきました。

ハイリスク妊婦、他院からの搬送が増加するなか、個人病院での助産師の減少によって、母乳外来にだけ来院される方や、搬送先の病院へ帰りたいと希望される等背景は様々ですが、私達は地域の助産師として他院とも連携していくかなければならないと痛感しました。

これからは、地域と顔の見える関係を目指していきたいと思います。

目指せ！！赤ちゃんにやさしい青森県！

母子医療センター助産師：川村 恵



シリーズ BFH ②



「赤ちゃんにやさしい病院・BFH(Baby friendly hospital) とは？その2」

母乳の持つ力は、科学的にも 最近いろいろなことがわかつてきました。また、赤ちゃんだけではなく、母乳をあげるお母さんの健康も守ってくれることも知られてきています。

いまでは先進国でも BFH 病院は増えており、国家が BFH 認定に関わっているノルウェーでは BFH 認定施設率 83%、スウェーデンは 100%という国もあります。

当院玄関を入り右側の柱に WHO・ユニセフよりいただいたピカソの母子像の版画の下に「母乳育児を成功させるための 10 カ条」を掲示しております。お時間のあるときに眺めてみていただけたら嬉しいです。

この10カ条が目指しているのは、まず、赤ちゃんにとって最良の栄養である母乳を飲ませてあげるよう、周囲が応援すること。そしておっぱいは大人が決めた時間、決めた量を与えるのではなく、赤ちゃんが「欲しいときに欲しがるままに」あげるという、赤ちゃん側に立った支援をするという姿勢です。

「子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減」のためには母乳育児が重要だとも言われています。当院では、これからも BFH 病院として赤ちゃんが健やかに成長できるように、お母さんと赤ちゃんを支援していくらと思っております。

次回のこのコーナーでは母乳の持つ不思議な力を紹介していきます。

小児科医師：三上 珠希

1



2



3



4



外来診療一覧

◆外来医師診療一覧表 (2014年1月1日現在)

診療科	区分	月	火	水	木	金
循環器内科		熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹
呼吸器科		中川英之	山本勝丸	中川英之	山本勝丸	中川英之
		下山亞矢子	下山亞矢子	下山亞矢子	下山亞矢子	下山亞矢子
消化器・血液内科		間山恒	—	五十嵐崇徳	間山恒	間山恒
		高杉かおり	五十嵐崇徳	高杉かおり	高杉かおり/五十嵐崇徳	五十嵐崇徳
		佐藤年信	高杉かおり	佐藤年信	(隔週交代)	佐藤年信
		石黒陽	石黒陽	—	石黒陽	石黒陽
小児科		杉本和彦	佐藤工	杉本和彦	佐藤工	杉本和彦
		三上珠希	千葉奈歩	三上珠希	千葉奈歩	久保かほり
		千葉奈歩	久保かほり	久保かほり	久保かほり	千葉奈歩
外科		田澤俊幸	三上勝也	田澤俊幸	神寛之	三上勝也
乳腺外来		小田桐弘毅	小田桐弘毅	小田桐弘毅	櫻庭弘康	小田桐弘毅
整形外科	午前	柿崎寛	柿崎寛	秋元博之	秋元博之	柿崎寛
		黒瀬理恵	黒瀬理恵	黒瀬理恵	大石和生	秋元博之
		神裕道	飯尾浩平	神裕道	—	神裕道
脳神経外科	午後	—	—	—	—	柿崎寛
皮膚科	午前	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲	熊野高行	熊野高行
	佐藤正憲	熊野高行	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲	佐藤正憲
	午後	●予約	●手術/検査	●予約	●手術/検査	●予約
泌尿器科	午前	神村典孝	神村典孝	村澤洋美	神村典孝	神村典孝
	午後	検査	検査	手術	検査	手術
産婦人科		木村秀崇	尾崎浩士	丹藤伴江	●妊婦健診	尾崎浩士
		木村恵理子	丹藤伴江	木村秀崇	(一般外来休診)	大石舞香
眼科		蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義
耳鼻咽喉科		黒田令子	黒田令子	●手術	黒田令子	黒田令子
		—	—	(一般外来休診)	—	—
放射線科	診断	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄
	治療	—	—	川口英夫 (午後)	—	川口英夫 (午後)
女性専用外来		杉本菜穂子	(※予約制/第1・第3火曜日午後診療)			
セカンドオピニオン		—	—	—	今充	—

※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

今月の川柳

★川柳募集★ あなたの川柳をお待ちしています。

目の疲れ ビタミンEで やっつけろ

(マスク星人)

介護する 家族の気持ち 今わかる

(マスク星人)

※掲載作品は広報誌編集委員会で選出したものです。

患者相談窓口

『患者相談室』のMSW(メディカルソーシャルワーカー)が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

お知らせ

編集委員会より

当院の広報誌『まほろば』は、地域に信頼され、納得の医療で地域に貢献しつつ、地域と協働して歩む病院づくりを目指し、地域の方々を対象に編集しております。皆さまから病院に対して『不安なことや不満足なこと』『ご批判やご指摘』また、『お褒めのことば』を職員一同お待ちしております。

発行元



Hirosaki National Hospital
独立行政法人国立病院機構

弘前病院

責任者：副院長 柿崎 寛

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地
TEL 0172-32-4311

FAX 0172-33-8614

URL <http://www.hosp.go.jp/~hirosaki/>